

令和8年度 吉野小学校教育目標 あったか よしの

「自ら学び、心豊かにたくましく生き抜く吉野の子」の育成

「三方よし」の小学校

(自分よし・相手よし・みんなよし)

《目指す児童像》

よく考える子

- よく聞き、考え、自分の考えを伝えられる子
- 粘り強く、とことん学ぶ子

思いやりのある子

- 友だちを大切にする子
- 人の気持ちを考えて行動する子

たくましい子

- 進んで運動する子
- 健康・安全に生活する子
- 最後までやりぬく子

「三方よし」の小学校

あったか
よしの

自分よし

自分を信じて
チャレンジしよう

みんなよ

学校や地域に
貢献しよう

相手よし

相手に**思いやり**
を持って接しよう



児童数・学級編成 105名 通常学級6 特別支援学級2（知1情1）
職員 校長1 教頭1 教諭9（育児休業1） 臨任講師1 養護教諭1 事務長1
市職5（指導補助教員・英語指導員・ALT・読書支援員・用務員・配膳員）
県職5（スクールサポートスタッフ・スクールカウンセラー）

吉野小教育の基盤

- 子どもたちが、**「希望の登校・満足の下校」**を実感できる吉野小
- 保護者、地域が**安心・信頼**して子どもたちを託せる吉野小
- 「笑顔で良い仕事を楽しくできる」**明るく楽しい職場を推進する吉野小

靴そろえ（心を整える） 礼法の習慣化



あいさつ
（人とつながる）



掃除（身のまわりをきれいにする）



学校経営の7つの基本方針

1 教育目標を具現化する

常に念頭に置き、教育活動とつなげる。

常に実践を振り返り、改良を重ね、よりよい活動を展開していく。

2 「教育は人なり」自分を磨き続ける

教師は、幅広い視野と温かな人間性、高い倫理観、豊かな教養をもつ。自分の良さを存分に活かし、自信をもって教育に励む。

3 ブレない学校経営・学級経営の判断基準をもつ

「生活の約束の徹底」

「児童のためになっているか」「児童にとって何がベストか」

「児童のために何が必要か」みんなで知恵を絞り、対応していく。

4 授業改善に努める

「学習の約束の徹底」

「わかる授業」「達成感を味わえる授業」「意欲が向上する授業」を目指す。みんなで、研鑽に励む。良い授業を見合う。

5 5つの指導内容の推進

「読書の推進」⇒読み浸る経験をたっぷりさせる

「善行の推進」⇒学校や人のためを思って進んで行動させる

「体力向上の推進」⇒健康で強い身体づくりに取り組ませる

「安全な生活の推進」⇒自分の命は自分で守る行動を実行させる

「目標を意識した教育の推進」

⇒目標に向けてがんばり通す経験を積み重ねる

6 危機管理「さしすせそ」の徹底 生徒指導の充実を図る 報連相（報告・連絡・相談）

105人を
全職員で！



さ：最悪を考え し：慎重に す：すばやく
せ：誠意をもって そ：組織的な対応を

7 コミュニティースクール・開かれた学校づくりに努める

常に「学校便り」「ホームページ」「連絡メール」等で情報発信をし、
「学校評価を取り入れた学校経営改善」を推進していく。

「どう伝えたか」ではなく、「どう伝わったか」地域の応援団を
有効活用（地域人材の活用・地域の自然・伝統文化・歴史・産業
等）して、地域とともに児童の育成を図る。